

4 「健康と歴史・文化の路」の優先整備路線

(1) 優先整備路線

「健康と歴史・文化の路づくり事業」をより効果的に進めるために、整備路線(8路線)のうち、事業目的の要素を多く含み整備効果が高い路線を「優先整備路線(モデル路線)」として選定しました。また、整備にあたっては、市民の利用が多く安全性の向上を必要とし、かつ、早期の整備が可能な区間から整備事業を実施します。

ア 整備効果の高い区間

優先整備路線(モデル路線)の選定については、整備路線(8路線)のうち整備効果の高い区間を抽出し、比較検討を行いました。抽出区間は、延長約400～700m程度を目安とし、優先度や道路空間としてのまとまりに着目しました。また、抽出した区間について、「候補要件」に基く健康、自然、歴史・文化に係る要素や住民の愛着度、沿道の環境、整備効果などから区間の概況比較・評価を行いました。この結果、8路線のなかから12区間を抽出しました。

○整備効果の高い区間

整備路線番号 (区間)	整備効果の高い区間
ルート① (青梅駅～日向和田駅)	区間1-1 青梅駅～青梅坂
	区間1-2 青梅坂～森下陣屋跡(森下児童遊園)付近
	区間1-3 森下陣屋跡付近～七兵衛公園
	区間1-4 日向和田駅～明白院付近
ルート② (梅の公園～友田町1丁目)	区間2-1 長淵市民センター付近～小山公園
ルート③ (青梅駅～金子橋)	区間3-1 吹上天平運動広場～塩船観音寺周辺
ルート④ (梅の公園～柚木町3丁目)	区間4-1 梅の公園～中道梅園
	区間4-2 中道梅園～下山八幡神社付近
ルート⑤ (御嶽駅～石神前駅)	区間5-1 沢井駅～沢井市民センター付近
ルート⑥ (黒沢1丁目～成木小学校)	区間6-1 安楽寺周辺
ルート⑦ (新町市民センター周辺)	区間7-1 新町市民センター～蔵屋敷公園付近
ルート⑧ (青梅駅～南白はげ公園)	区間8-1 青梅駅～宗建寺付近

イ 優先整備路線の選定

「健康と歴史・文化の路」整備路線(8路線)のうち、整備効果の高い区間はルート①が4区間、ルート④が2区間で、他の路線はそれぞれ1区間です。

この結果、優先整備路線は、ルート①(青梅駅～日向和田駅)とルート④(梅の公園～柚木町3丁目)を選定しました。

整備路線番号(区間)	整備効果の高い区間	基本情報		健康の保持や増進に係る要素		季節が繰り返す美しい自然景観に係る要素		歴史を伝える文化施設等に係る要素		住民の愛着度に係る要素		利用上の快適性に係る要素		沿道要素・環境からみたらの特徴		整備効果			整備内容		現況		
		延長 m	市道番号	既往の活用	日常的要素	レクリエーション的要素	公園	眺望	農耕地空間	石垣・生垣	歴史性・地域の歴史	愛称路線名	市民アンプル	水辺	利用上の快適性に係る要素	沿道要素・環境からみたらの特徴	利用度・認知度	象徴性	(周辺)の有効性	区間特性		(既設)の整備	(防護)の整備
ル1(黒川)区間5-1 沢井駅前～沢井市民センター付近 [整備路線図1]	ル1(黒川)区間5-1 沢井駅前～沢井市民センター付近 [整備路線図1]	480	準45	有	市民センター	沢井駅前広場	有	多摩川	石垣	沢井八幡	青渭通り	樹林	水辺	沢井地区(町)	多摩川・対岸丘陵への眺望、鉄道の併走を伴った風景(ダイヤミミックなパノラマ風景)	沢井駅に近く利用度が比較的高い立地・市民センター	—	—	—	—	—	—	
ル1(黒川)区間6-1 安楽寺周辺 [整備路線図10]	ル1(黒川)区間6-1 安楽寺周辺 [整備路線図10]	660	環30	有			有	畑地田圃	石垣	安楽寺(都)	安楽寺通り	樹林	水辺	里山風景	里山集落の散策路	周辺に寺社が立地	—	—	—	—	—	—	
ル1(黒川)区間7-1 新町市民センター～蘆屋敷公園付近 [整備路線図6]	ル1(黒川)区間7-1 新町市民センター～蘆屋敷公園付近 [整備路線図6]	550	青574 青645 青647 青646	有	市民センター	わかぐさ公園 蘆屋敷公園								区画整理された市街地・住宅地に近く利用度が高い	区画整理された市街地・住宅地に近く利用度が高い	周辺に公共施設、公園が立地 ・市民センター ・わかぐさ公園	◎ 40m 毎	◎ 40m 毎	◎ 40m 毎	◎ 40m 毎	◎ 40m 毎		
ル1(黒川)区間8-1 青梅駅～宗健寺付近 [整備路線図]	ル1(黒川)区間8-1 青梅駅～宗健寺付近 [整備路線図]	500	青2003 環27 青2335	有	青梅駅	西分児童遊園				住吉神社 宗健寺	青梅酒			青梅駅、商業地、歴史の中核をなす青梅が立地 ・周辺に寺社が立地	青梅駅、商業地、歴史の中核をなす青梅が立地 ・周辺に寺社が立地	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎		

(2) 整備区分

ア 優先整備路線の区間特性

○ルート①（青梅駅～日向和田駅）の特徴と区間特性

ルート①は、通学通勤等の日常的な利用者が多く、青梅の歴史の中核をなす青梅宿や旧青梅街道と連携して回遊動線を構成するものとなる市街地の道です。

利用者の視点から、ルート①の道路の背景となる立地環境や沿道環境などに注目すると、この路線は市内でも特徴的な「賑わいのある区間」、「歴史的修景区間」と市内に広くみられる「標準的な区間」の3つに大きく分けられます。ルート①の整備は、この区間特性の区分に応じて行います。なお、区間特性に応じた具体的な整備内容は、『5「健康と歴史・文化の路」の整備方法』に示します。

○ルート①の区間特性

対象区間	区間の特徴	区間特性
青梅駅 ～青梅市民センター入口 ・延長約130m ・幅員約5.3m	・青梅駅から七兵衛通り・青梅宿方向への導入部 ・商業施設が立地し、沿道両側の低～中層の街並みと一体的な街路空間が形成された区間 ・通勤・通学、駅利用者などが集中し、人通りの多い賑わいある区間	賑わいのある区間
青梅市民センター入口 ～青梅坂 (七兵衛通り) ・延長約320m ・幅員約3.6m程度	・点在する蔵や町家など宿場の街並みが残る歴史的な趣きのある区間 ・七兵衛通りの中でも、青梅宿の面影をよく残す区間 ・丘陵・山裾の自然に彩られ長く親しまれてきた沿道景観が印象的な区間	歴史的修景区間
青梅坂～日向和田駅 (七兵衛通り 青梅坂以西) ・延長約3,000m ・幅員約4.4m程度	・低層戸建の住宅地を連ねる生活道路の区間 ・ゆとりある家並みの背景に丘陵や山並みが広がり、緑豊かな沿道環境の区間	標準的な区間 (市街地)

○ルート④（梅の公園～柚木町3丁目）の特徴と区間特性

ルート④は、観光名所である「梅の公園」への来訪者も多く利用し、かつ、近年整備された市道（梅 869：洗出し舗装）とも連続する郊外の道です。

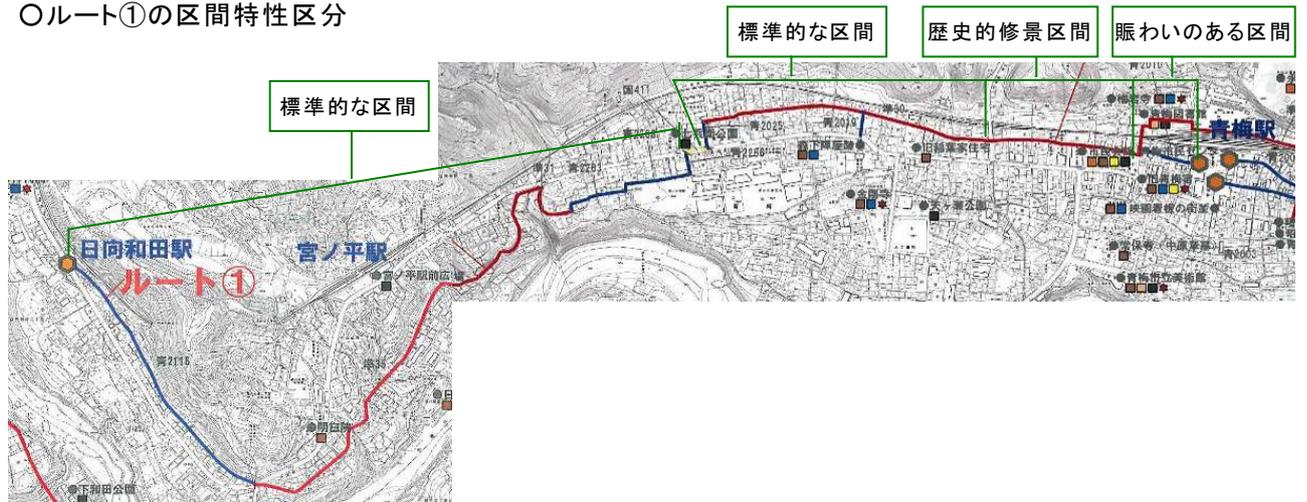
利用者の視点から、ルート④の道路の背景となる立地環境や沿道環境などに注目すると、路線全体が市内に広くみられる「標準的な区間」に位置づけられます。ルート④の整備は、この区間特性に応じて行います。なお、区間特性に応じた具体的な整備内容は、『5「健康と歴史・文化の路」の整備方法』に示します。

○ルート④の区間特性

対象区間	区間の特徴	区間特性
梅の公園～柚木町3丁目 ・延長約3,200m ・幅員約4.4m程度	・観光資源である「梅の公園」への導入部 ・郊外の集落・住宅地を山並みの樹林が包む自然豊かな沿道環境の区間	標準的な区間 (郊外)

イ 優先整備路線の整備イメージ

○ルート①の区間特性区分



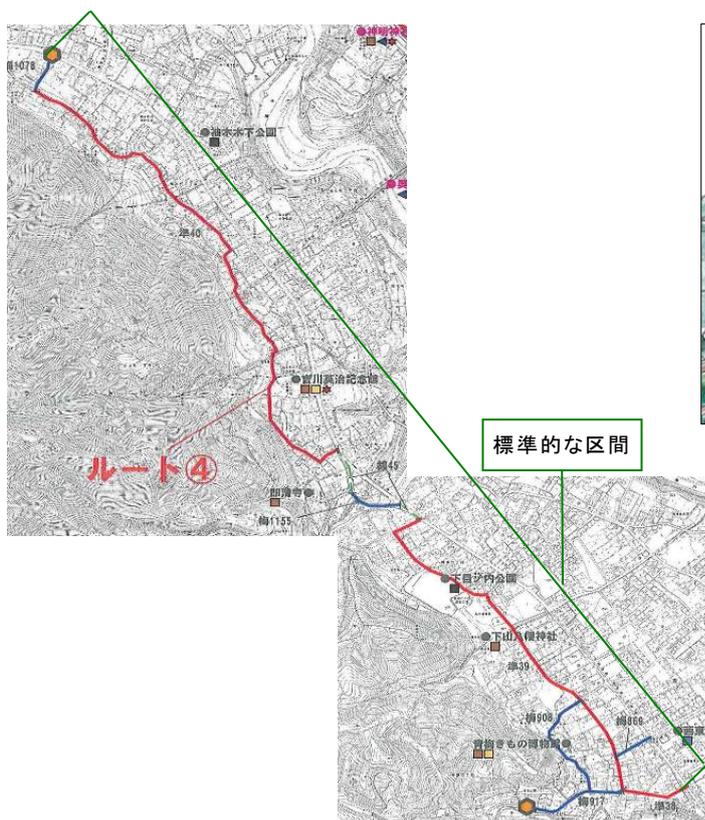
・歴史的修景区間 整備イメージ



・賑わいのある区間 整備イメージ



○ルート④の区間特性区分



・標準的な区間 整備イメージ

